

- ・ 教員着任のご挨拶
- ・ 診療科紹介 - 消化器内科 -
- ・ 今後の診療体制について
- ・ 退職のご挨拶
- ・ 東大VMC基金活動報告
- ・ 臨床試験のご案内



東京大学大学院農学生命科学研究科 附属動物医療センター 広報誌  
Veterinary Medical Center, the University of Tokyo | NEWS LETTER NO.5 November 2021

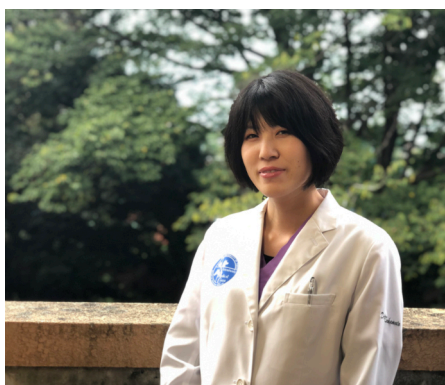
お知らせ

## 教員着任のご挨拶



### 画像診断部 特任研究員 池田 彬人

本年10月より当センター画像診断部にて勤務しております池田彬人と申します。私はこれまで神奈川県の間診療施設での勤務を経て、現在に至るまで他の二次診療施設を始めとした複数の動物病院にて画像診断業務に従事しております。画像検査は診断を目的とした行為であり、それ自体で病気を治すことはできませんが、よりよい治療はより正確な診断に支えられていると考えています。なるべく低侵襲かつ多くの情報が得られるように、画像診断機器の性能を十分に引き出して人間の医療レベルに準じた画像検査を目指し、ご家族様と患者様が最良の治療を選択できるよう尽力してまいります。まだまだ発展途上の身ではございますが、よろしくお願い致します。



### 消化器内科 特任臨床医 阪本 恵美

本年7月に消化器内科に赴任致しました阪本恵美と申します。私はVMCの内科系診療科で研修医を修了したのち、一次診療施設での勤務を経て、目まぐるしく変化していく獣医療の世界で多くのことを学ばさせて頂きました。これからは大学病院ならではの高度診療技術を上手く利用しながら、微力ながら獣医療の発展に貢献致します。人間よりもずっと短い寿命でありながら、人からこんなにも愛され、病気を乗り越えようとする「動物」のひたむきさや美しさが私は大好きです。当院を受診する動物たちは、患者様にとって本当にかげがえのない家族の一員であること、ご紹介頂いた先生方にとっても大切な患者様であることを肝に命じて、その期待に応えられるよう日々の診療に邁進いたします。よろしくお願い致します。



## 診療科紹介：消化器内科

消化器内科では消化管疾患と肝・胆嚢疾患、膵臓疾患を中心に診断・治療を行っています。消化器内科の症例では、血液検査、超音波検査など一般的な検査から、それら基本的な検査のみでは病態の把握が不十分な場合には、麻酔・集中治療部/画像診断部との連携のもとCT検査・内視鏡検査・腹腔鏡検査を実施しています。嚥下困難や吐出など、上部消化管疾患（巨大食道症など）が疑われる症例では、消化管運動性の評価のためにX線透視検査を用いるなど、各種特殊検査を組み合わせることで正確な病態把握と確定診断の実施に努めています。

当院に来られる患者様の中には「内視鏡検査などに伴う麻酔処置が心配」「できるだけ動物にとって負担が少ない形で」と口にされる方も多いためです。当院では一施設において麻酔科・消化器内科・外科・腫瘍科と必要に応じて消化器内科が各科と連携し幅広い治療選択肢をそれぞれの患者様が望まれる形でご提案できることが強みではないかと思っております。

また、麻酔下での内視鏡検査では生検のみではなく、必要があれば内視鏡を用いた治療（食道・胃瘻チューブ設置、バルーン拡張、ポリペクト



ミーおよびアルゴンプラズマ焼灼)も多く実施しており、侵襲性が低い方法で最適な検査・治療をご提案するよう心がけています。

消化器症状は飼い主様も気づきやすく、なかなか治らなると悩まされている方も多いかと思われますので、症例ご紹介の相談など、まずはお気軽にお問い合わせ下さい。

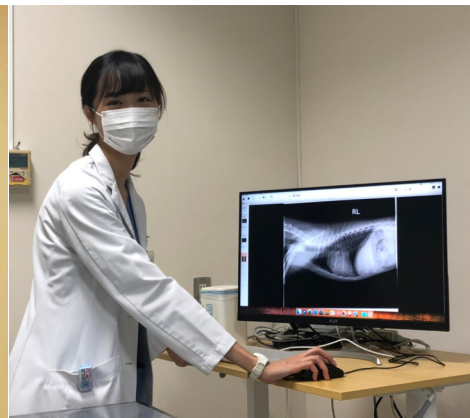


お知らせ

## 今後の診療体制について

新型コロナウイルス感染症（COVID19）への対応のため、2020年度は東京大学の活動制限指針に従って受け入れ件数を減らして診療を行いました。昨年より予約の取りにくい状態が続ぎ、ご紹介いただく病院の先生方や飼い主の皆様にはご迷惑をおかけしていました。

2021年10月4日の学内の活動制限指針レベルの引き下げに伴い、現在は感染予防に十分注意をしながら受け入れ件数を従来の件数に戻して診療活動を行なっています。また、院内の混雑状況の緩和のため、診察室を1部屋増設しました。診察室内ではソーシャルデ



スタンスを確保し、スタッフと飼い主様が一定の距離を保って診察できるよう配慮しております。今後も、感染防止対策を徹底するとともに医療の質の維持・向上に尽力しますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

## 退職のご挨拶

2名の教員が退職いたしました。先生方の今後の益々のご活躍を、スタッフ一同祈念しています。



今年の6月末をもって23年勤めた東京大学を、そしてVMCを早期退職しました。これまでいろいろとお世話になった皆様、症例を送ってくださった動物病院の先生方、そして飼い主様、全ての方と私が診てきた動物に御礼申し上げます。現在は渋谷区千駄ヶ谷にある企業病院にて雇われ院長をしております。

私はVMCがまだ「家畜病院」という名前の平屋の建物だったころを知る数少ない人間で、VMCのいいところも悪いところも、いい時代も悪い時代も見してきました。VMCを去ることは相当悩みましたし、後悔するかもしれないと思う気持ちもあります。ただ今のままVMCに、東大に私が居続けることは、私の成長にならないな、という思いと、しばらく獣医臨床にシンプルに向き合ってみたいという思いで、退職を決意しました。VMCというぬるま湯で臨床をしてきた私には、今の環境は辛い面も多々ありますが、毎日がまた勉強の日々です。そしてそれは望むところでした。

これからも多くの先生のお世話になると思います。どうか今後ともよろしくお願いいたします。若い先生も、今のうちにいるんなところで、様々な経験積んでください。心から応援しています。

前 東京大学 獣医内科学研究室 准教授  
現 動物医療センターPECO院長

大野 耕一



このたび、9月末を持ちまして東京大学附属動物医療センターを退職し、10月1日付けで岩手大学動物病院に着任いたしました。私は2002年4月から2年間の外科系研修医を経て、CT・MRI・放射線治療担当としてそのまま在籍することが叶いました。博士号もない私を臨床メインの立場で、VMCに長きにわたり置いていただいたこと、当時の先生方には本当に感謝しております。CTは2005年に1列から4列に、2014年に80列へと変わり、MRIは2019年に0.4Tから3Tへと変わりました。そして放射線治療装置も老朽化はしているものの、修理を経てまだまだ現役で頑張ってくれています。装置だけでなくVMCの診療体制も、各教員が網羅的に広範囲を見ていく診療から、それぞれに得意分野を持って分担しつつも連携をとるチーム医療へと変わり、ハード面もソフト面も毎年歩みを止めず少しずつ変化していくVMCの一員として、非常に多くの経験をさせていただきました。約20年をVMCで過ごし、獣医師として働ける折り返し地点に来た今、VMCでの経験をぜひ母校かつ出身地である岩手大学で生かしていきたい、という思いが強くなり岩手大学へ移る決意をいたしました。今後はVMCスタッフとしてではなく卒業生として、東北の地よりVMCのさらなる発展、そしてお世話になったみなさまの今後のご活躍とご健康を心より願っております。20年弱の長きにわたりお世話になりまして、本当にありがとうございました。

前 VMC 画像診断部 特任助教  
現 岩手大学動物病院 特任助教

藤原 玲奈



お知らせ

## 東大VMC基金の活動報告



東京大学動物医療センターの開設140周年にあたり2019年より開始した東大VMC基金は、皆様に賜りましたご支援により累計寄付金額が16,769,836円に到達しました（2021年10月31日現在）。本基金にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

ご寄付いただいたお金は、超音波診断装置や内視鏡装置のビデオスコープの導入・整備など、院内の診療機材の拡充に大いに役立てております。超音波検査は動物に大きな負担をかけることなく心臓や腹腔内臓器など様々な部位の様子を非侵襲的に評価することができるため、実施する頻度が高い検査の一つです。最新型の超音波診断装置の導入により、高画質な画像による病変の詳細な評価が可能になりました。また、消化管や気道を内側から観察可能な内視鏡検査は消化器・呼吸器内科において診断・治療に欠かせない装置の一つであり、寄付金による内視鏡装置の整備は診断精度や操作性の向上につながっています。

今後も動物にも人にもやさしい世界一の動物病院をスタッフ一同で目指して参りますので、引き続き皆様のご理解とあたたかいご支援をお待ち申し上げます。



## Information

## 臨床試験のご案内



東大VMCでは現在以下の臨床試験プログラムを実施しています。当該症例に遭遇した場合は当センターへご紹介をお願いします。詳細は右上のQRコードを参照ください。



## 犬の膀胱癌に対するIDO1阻害剤の臨床試験

対象

- 犬膀胱癌に罹患した症例（疑い症例の受診も可能です）
- 東京大学附属動物医療センターに通院できる飼い主様（試験開始後1, 3, 5週目の通院が必要になります。）
- 治療効果検証のための病変の採材にご協力頂ける飼い主様



## 犬の固形腫瘍に対する高分子型抗癌剤の臨床試験

対象

- 外科手術による根治的切除不能あるいは転移病変を有する悪性固形腫瘍のうち、放射線や抗癌剤などその他の有効な治療法が無い症例（脳腫瘍、末梢神経鞘腫、扁平上皮癌、線維肉腫、悪性黒色腫、甲状腺癌、肺癌、肝臓癌、膵臓癌、胃癌、腸腺癌、消化管間質腫瘍、副腎腫瘍、腎癌、尿路上皮癌、肛門嚢腺癌、乳癌、骨肉腫、血管肉腫、肥満細胞腫、組織球性肉腫などのうち、標準治療の有効性が期待されない、または耐性となった症例）
- 東京大学附属動物医療センターに通院できる飼い主様（治療期間中は1~2週に1度の頻度での通院が必要になります。）
- 治療効果検証のための病変の採材にご協力頂ける飼い主様

## 犬の膀胱・尿道移行上皮癌および前立腺癌に対する臨床試験

対象

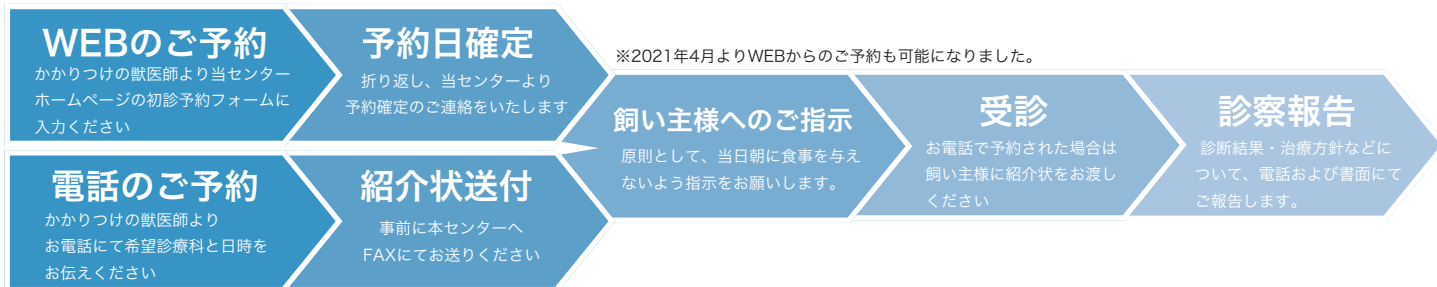
- 移行上皮癌（膀胱・尿道）または前立腺癌と診断された犬（※疑いで紹介していただいても構いません）
- 抗がん剤、放射線療法、外科摘出を実施していない（NSAIDsは可） ■ 薬剤を1日1回経口投与できる
- 東京大学附属動物医療センターに通院できる（4週間に1回程度の頻度です）

## 猫の悪性腫瘍に対するニムスチンの臨床試験

対象

- 細胞診または病理組織学的検査にて悪性腫瘍と診断された症例
- 放射線療法、外科的手術、骨髄抑制を起こす化学療法を2週間以内に実施していない症例
- 東京大学附属動物医療センターに通院できる（週に1回の頻度で投与から3週間目まで）

# 初診予約～診察の流れ

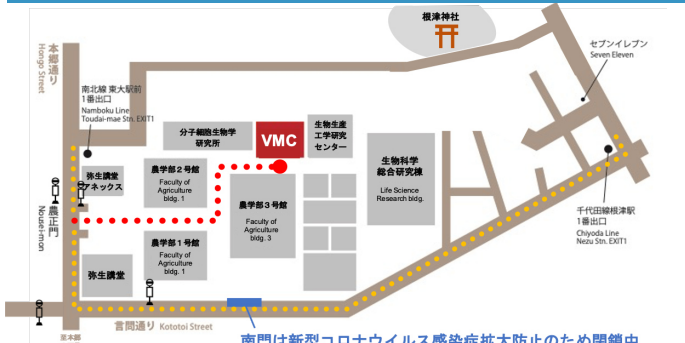


## 初診外来表

診療科	受付時間	月	火	水	木	金
内科系	9:00-14:00	○	○	○		○
外科系	9:00-15:00	○	手術	手術	○	手術
眼科	9:00-15:00	○	○	手術		○
エキゾチック	9:00-15:00	○		手術		
行動	10:00-15:00	○				○

予約専用（代表） ☎ 03-5841-8004（平日 11:00-16:00）  
 其他のお問合せ ☎ 03-5841-5420（平日 9:00-16:00）  
 ☎ 03-5841-5413（平日 16:00-20:00）  
 行動診療科はFAXにて予約：03-5841-8190  
 （詳細は <http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/koudou/j-clinic1.html>）

## アクセス



★電車でお越しの場合：  
 ・メトロ南北線 東大前駅 出口1から徒歩3分  
 ・メトロ千代田線 根津駅 出口1から徒歩13分（根津駅からは登り坂です）  
 ★お車でお越しの場合：  
 ・農学部正門からお入りください。病院の前までお入りいただけます。

### COVID-19感染拡大防止のための大学活動制限により変更される場合があります。

#### ご予約時の注意点（詳細は右下のQRコードをご参照ください）

当センターでは病気の確定診断や、手術などを含む高度医療に主力をおいています。そのため、一般的な治療や診断後・安定後の治療はできる限り紹介医にお願いすることを原則としておりますので、あらかじめご了承ください。

- ・ 外科の初診は診察のご予約になります。手術のご予約ではありませんのでご了承ください。また、麻酔が必要な検査や処置は初診当日に行えない場合があります。
- ・ 当センターの放射線治療装置はオルソボルトージのみとなっています。当センターの放射線装置での対応が難しい場合は他の診療施設を紹介させていただく場合があります。オルソボルトージの装置では適応外の場合には他の診療施設への紹介をご検討ください。
- ・ 眼科では設備の都合上、白内障手術は現在対応できません。
- ・ 診断あるいは治療方針が確定しましたら、原則として紹介病院にお引き継ぎいただきます。
- ・ ご紹介後、当院の休診日(土日祝日など)で対応できない場合は、貴院でのご対応をお願いいたします。  
 （診察日であっても緊急手術などの緊急対応には原則として応じることができませんのでご了承ください）
- ・ 当センターはエキゾチック動物診療科を設置しておりますが、動物種によってはお受けできない場合がありますのでご了承ください。

また、以下の点を飼い主様へ説明をお願いします。

- ・ 来院当日の朝は絶食の上でお連れください（飲水は可）  
 （糖尿病、幼齢、エキゾチック動物などで絶食が困難と思われる場合は当センターにご確認ください）
- ・ 当日の検査は、動物の状態や当センター全体の検査状況に応じて行います。  
 初めて来院される際に、必ずしも全ての検査が行なえるとは限りませんのでご了承ください。
- ・ 緊急性がある場合をのぞき、予約当日の外科手術は行なっていません。



詳細はこちら▷

休診のお知らせなどの情報更新は随時HPで公開しております。HPもぜひご覧ください。

<http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/vmc/> Facebookもチェック



東京大学附属動物医療センター  
 Veterinary Medical Center, The University of Tokyo

[住所] 〒113-8675 東京都文京区弥生1-1-1  
 [TEL] 予約専用（代表）：03-5841-8004【受付時間】平日11:00～16:00  
 其他のお問合せ：03-5841-5420【受付時間】平日 9:00～16:00  
 03-5841-5413【受付時間】平日16:00～16:00  
 [URL] <http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/vmc/>